

一部構成員限り

利用者視点を踏まえた モバイル市場の検証に関する専門委員会（第4回） ご説明資料

2026年2月13日



Thank you

このような機会を頂きまして
誠にありがとうございます



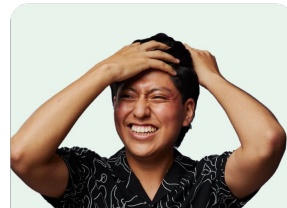
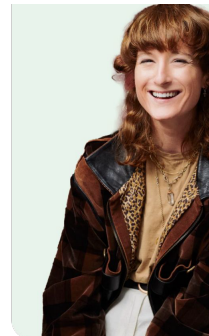
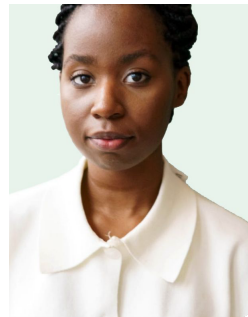
User First

Googleは最高のモバイルユーザ体験を提供することをめざしています

人々が自由に情報にアクセスできるように

望むタイミングで、自由に自分に合ったものを選択し、安心して利用できる

モバイル端末と通信サービスであることが重要と考えます



ユーザ視点に基づき、ヒアリング事項 1-(1), (3)について意見を述べさせていただきます



関係者ヒアリング事項【第1回会合後修正（追記・修正箇所は青字）】

1. 指標（データ）に基づく規制のあり方の検討

- (1) 電気通信事業法第27条の3の導入時に目指した目的①～④は達成できていると言えるか。
(現在の市場環境や27条の3の規制の効果をどのように捉えているか)

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 目的① 事業者間の適正な競争環境の実現 | 目的② 利用者が自らのニーズに沿った通信サービスを合理的に選択 |
| 目的③ 利用者間の不公平 | 目的④ 通信料金の高止まりの解消 |

- (2) 市場環境や27条の3の規制の効果を検証するにあたり、どのようなデータを定期的に観測すべきか。
現在参照しているデータに加えて、他に把握すべきデータはあるか。

- (3) 27条の3の規制の最小化を図ることは可能と考えるか。
上記の目的①～④を達成するため、27条の3の規制に代わる対応策が考えられるか。

(4) (MNO 4 社に対して)

- ① 自社のモバイルサービスの通信品質をどのような指標で評価しているか。また、これを踏まえてネットワーク投資の水準をどのように評価しているか。
- ② 顧客獲得や顧客維持のモチベーションとして、通信料金収入の確保の他に何があるか（例えば、顧客データの取得・活用、他サービスとの連携、自社経済圏の強化 等）。

2. 現在、通信市場や端末市場において顕在化している課題はあるか

- (1) 短期解約問題については、
- ① 短期解約の課題は何か。
 - ② 当事者が自主的な対策を講じることはできないのか。
- (2) その他、顕在化している課題はあるか。

ヒアリング項目

1-(1)
現在の市場環境や27条の3の規制の効果をどのように捉えているか。

1-(3)
27条の3の規制の最小化を図ることは可能と考えるか。

Googleの意見

【プラスの効果】

端末購入方法の多様化 (オープンマーケットの成長)と
通信料金の低廉化 が見られました

【マイナスの効果】

残価買取プログラムにより、以下の課題が発生しています

- ユーザにスマホ購入の仕組みが複雑
- 運用者への過度な負荷
- 過去端末の買取価格を参考にすることによるメーカー間の競争環境の硬直化

【提案】

残価算定方法を全端末一律とすることを提案します

規制を最小化を図ることはできると考えます

1-(1)競争環境について

優れたユーザ体験を提供するには、通信産業全体が共に発展することが重要と考えます

公正な競争の促進

事業者間、メーカー間の競争により多様な選択肢がある
新規参入など競争が行われ、選択肢が継続的に提供される

通信・サービス・端末の発展

最新技術をお求めやすい価格で利用できる環境を実現する
事業者、端末メーカー等業界一体での努力をする

通信産業全体の成長

通信産業全体が健全に成長し、適切な利益確保と投資が
業界全体に循環することで、継続的な国内市場の成長が可能

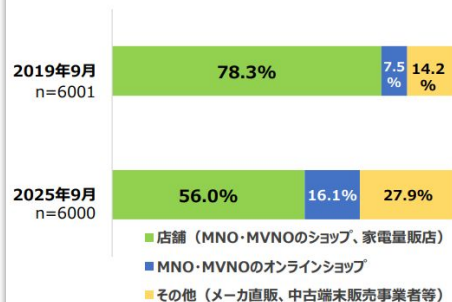
優れたモバイルユーザ体験

規制の効果により、端末購入方法の多様化と通信料金の低廉化が見られました

端末購入方法の多様化（オープンマーケットの成長）

●現在使っている端末を購入した場所

出典：総務省 利用者意識調査



●中古端末の販売台数

MM総研の調査を基に作成

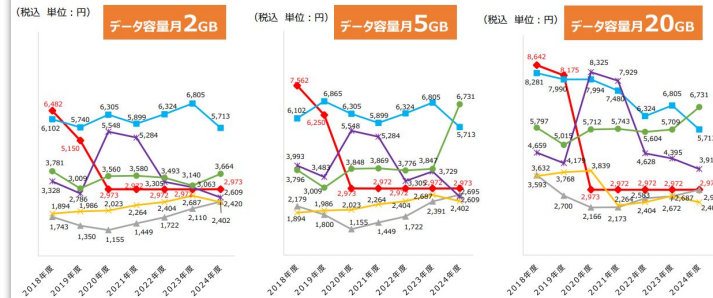
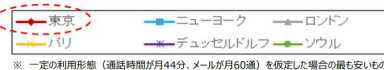


通信料金の低廉化

○ 日本の携帯電話料金について、2018年度・2019年度は諸外国と比べ、高い水準であったが、2020年度以降は料金低廉化が進み、諸外国と比較してもおおむね中位の水準となっている。

シェア1位の携帯電話事業者（MNO）
のモデル料金（※）の国際比較

4Gサービス



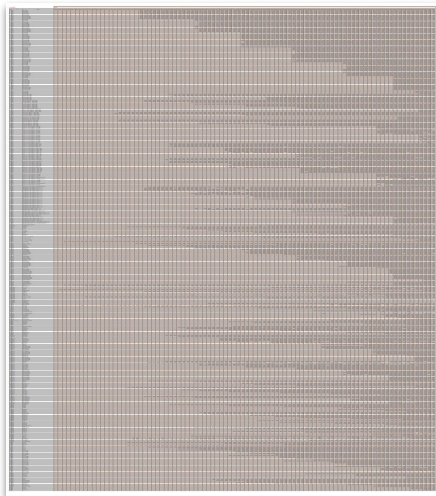
利用者視点を踏まえたモバイル市場の検証に関する専門委員会（第1回）資料より抜粋

一方、残価買取プログラムにより、スマホ購入の仕組みが複雑で分かりづらくなっています

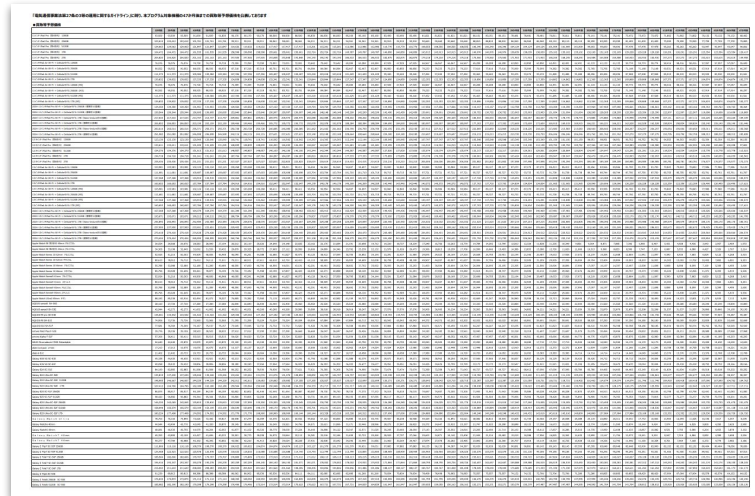
構成員限り

残価は端末ごとに算定しており、運用負荷がかかっています

RMJが過去端末の買取平均額を公開



各通信事業者が残価算定し、総務省に提出



全ての端末に反映



販売価格

総額 219,600円

毎月の支払額

1～12回	1円
13～24回	6,099円
25～48回	6,100円

※端末販売価格・初期設定費用（税別）219,600円。実売率約91%。支払期間48ヵ月内。支払回数48回

+

新とうするリポート+なら

48回払いで購入し

13ヵ月目まで【特典A】 25ヵ月目まで【特典B】

に特典申し込みの機会
(特典申し込み後月末までに機種回収が必要です)

支払総額 49,512円
特典利用料**22,000円、早期利用料**27,500円を含む

毎月の支払額

1～12回	1円
13～24回	お支払い不要
25～48回	お支払い不要

* かんしん保証パックサービス（月額利用料最大1,800円/月）は、機種購入時から特典利用の申し込み完了するまで加入いただく必要があります。かんしん保証パックサービス・早期利用料の金額は、変更される場合があります。

機種は、特典利用の申し込みの翌月末までに当社指定の条件に基づく回収・買取りが必要です。
買取り（または一部で特典利用料および早期利用料、特典A・B）の支払いが必要です。
回収価格が買取り価格を大きく下回る場合、買取りの回収価格をあらかじめ支払う場合は、機種のお金に代りて最大10,000円（不償還）の支払いが必要となります。特典Aで利用した方がお得です。

※詳しくは、機種・販売価格・回収価格の条件を必ずご確認ください。詳しくは、お申し込みのときに必ずご確認ください。

残価算定ルールは過去端末の買取価格を参考にしており、現在価値を正しく反映できていません
市場を硬直化させてユーザーの選択肢を減らすリスクもあります



スマホは日々進化している一方で、残価算定は過去モデルと同じ価値を有することを前提としています

- 折りたたみスマホ
- AI技術の導入
- OSの長期間サポート
- バッテリーの高寿命化



過去端末の買取価格を参考になっている現在のルールは、メーカーの発展的な開発を阻害し、ひいてはメーカー間の競争環境の硬直化をもたらします

将来的に、自由にスマホを選ぶ機会を失うリスクがあります

残価買取プログラムの残価算定方法は、一律の残価率を適用するのが良いと考えます

解決すべき課題

ユーザにとってスマホ購入の仕組みが複雑

運用者への過度な負荷

過去端末の買取価格を参考にする事による
メーカー間の競争環境の硬直化

提案内容

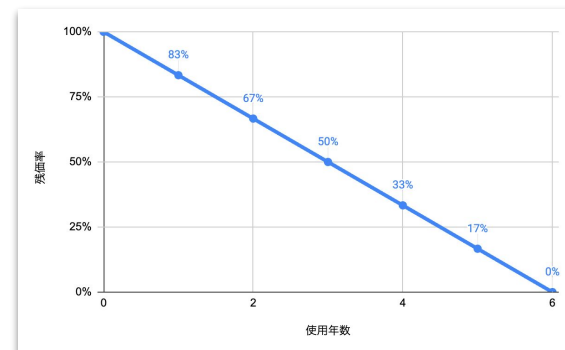
全てのスマホの残価が定率で減少するモデル

全てのスマホに4～6年で定率で減少するモデルを提案します

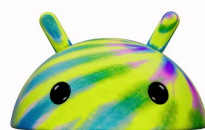
スマホは所得税法上の「電子計算機」もしくは
「通信機器」などに近いと考えられるため、
4～6年で価値が減少するモデルで残価率を計算する

構造・用途	細目	耐用年数
事務機器、通信機器	謄写機器、タイプライター	3
	孔版印刷・印書業用のもの	5
	その他のもの	5
	電子計算機	4
	パーソナルコンピュータ（サーバー用のものを除く。）	5
	その他のもの	5
	複写機、計算機（電子計算機を除く。）、金銭登録機、	5
	タイムレコーダーその他これらに類するもの	5
	その他の事務機器	5
	テレタイプライター、ファクシミリ	6
	インターホン、放送用設備	6
	電話設備その他の通信機器	6
	デジタル構内交換設備、デジタルボタン電話設備	6
	その他のもの	10

減価償却資産の耐用年数表より抜粋



定率で減少する残価率推移（6年の場合）



1-(3)規制の最小化について

通信業界の発展には、事業者の競争と工夫や技術の円滑な導入が重要であり
そのためには規制の最小化が望ましいと考えます

Googleの現状認識

あるべき姿

事業者の創意工夫による競争の多様化

通信料金の低廉化が実現している
SIM単体購入など端末分離が広がる

規制がなく事業者が自由に競争

新しいサービスや販売方法など
ユーザに多様な選択肢が提供される

諸外国と異なる厳しい規制

日本のみの完全分離規制
(米国、欧州、韓国では規制されていない)

ユーザが最新技術の恩恵を受けられる

最新技術を手頃な価格で早く享受できる

まとめ

Android



ヒアリング項目

1-(1)
現在の市場環境や27条の3の規制の効果をどのように捉えているか。

1-(3)
27条の3の規制の最小化を図ることは可能と考えるか。

Googleの意見

【プラスの効果】

端末購入方法の多様化 (オープンマーケットの成長)と
通信料金の低廉化 が見られました

【マイナスの効果】

残価買取プログラムにより、以下の課題が発生しています

- ユーザにスマホ購入の仕組みが複雑
- 運用者への過度な負荷
- 過去端末の買取価格を参考にすることによるメーカー間の競争環境の硬直化

【提案】

残価算定方法を全端末一律とすることを提案します

規制を最小化を図ることはできると考えます

Thank you

